



## 特集 福島県男女共生センターってどんなところ？

～わくわくドキドキ探検レポート～

- 特集 福島県男女共生センターってどんなところ？  
～わくわくドキドキ探検レポート～ …… P2～P3
- 福島県男女共生センター事業紹介 …… P4
- 令和5年度事業報告 …… P5～P7  
第22回福島県男女共生のつどい  
転入女性交流のつどい  
女性活躍推進セミナー  
「男女共同参画の日」川柳・写真入賞作品
- いわきのさんかくさん …… P8

特集

# 福島県男女共生センター ってどんなところ？

～わくわくドキドキ探検レポート～

## 福島県男女共生センター ～女と男の未来館～

女性（婦人会等）の学習拠点となる施設の位置付けとして、平成4年度の福島県長期総合計画において「福島県女性総合センター（仮称）」の整備検討が明記されました。平成11年に愛称を公募し、平成13年1月18日に開館しました。



### 【住所】

〒964-0904  
福島県二本松市郭内一丁目196-1

### 【連絡先】

TEL：(0243)23-8301(代)  
FAX：(0243)23-8312

### 【ホームページ】

<https://www.f-miraikan.or.jp/>



## 福島県男女共生センター の基本理念と3つの機能



### 情報機能

- 図書、資料等の情報収集と提供
- 調査研究



### 自立促進機能

- 男女共同参画関係の普及啓発、研修
- 相談対応



### 交流機能

- 個人や団体等の交流、ネットワークづくり支援

性別の違いにより行動や生き方を狭められたり、特定の仕事や役割がどちらか一方の性に偏ったりすることなく、女性も男性も個人として尊重され、互いに支え合い、共に責任を担う社会「男女共同参画社会」の実現を目指して設置されました。

一人一人が主体的に男女共同参画についての問題に取り組み、豊かな人生を送るための実践的活動拠点として活用できる施設です。

## 図書室



約4万冊の書籍が取りそろえられています。より多くの方が借りることができるよう県内の図書館と連携することで、遠方の方でも読みたい書籍を近くの図書館へ送ってもらうことができます。



- ジェンダー関係の書籍が多く取りそろえられている。
- 定期的に設置される特集ブースが目にとまりやすい。
- 絵本コーナーがあって小さい子どもも楽しめる。
- ジャンル別にお楽しみ袋が用意されるなど、本を借りることを楽しめる工夫がされている。

大人数を収容できる研修ホールや少人数向けの研修室の他、工作室や調理室などがあり、多岐に渡った用途で使える施設になっています。



## 研修ホール



- 発表の場として400人収容できる。



## 研修室

- 広さはさまざまで25名から110名まであり、用途で使い分けることができる。
- 研修室の窓からは中庭が見えて開放感がある。



## ホール

- 団体などの冊子やイベント情報等のチラシが置かれているブースがあり、椅子もあるので休憩しながら利用できる。



## 福祉機器展示室

- 多くの器具や設備が設置されており、さまざまな場面を想定された実習を行うことができる。



## 宿泊室

2名タイプ(洋室)と4名タイプ(和室)があり、洋室と和室を合わせて22部屋の宿泊室があります。

- 窓から裏山の木々を眺めることができ、自然を感じながらリラックスできる。
- 研修と合わせて利用すると安価で利用することもできるのでオオススメ。
- 誰でも利用できるので、観光時にぜひ！



## 車椅子対応の部屋

- 車椅子対応の部屋とそのバスルーム内は他の部屋より広がっている。段差のない作りのため、安心して利用できる。



## 車椅子対応のバスルーム

## 視察を終えて(編集委員より)

- 人が集まりやすい雰囲気、会議室や研修室にも表れていました。ホールの広さもさることながら、用途によって使い分けしやすそうで、気軽に活用できそうです。福祉機器展示室にある器具や設備も豊富で、介護などの課題を身近に感じることができました。イベント開催の夢が膨らむ施設でした。
- 図書室は、男女共同参画の本に特化した内容のみならず、子ども向けの図書も充実していて、本に親しめる豊かで静かな環境です。

# 福島県男女共生センター 事業紹介(一部)



## 研修事業

### 研修講師派遣事業

市町村やNPO等各種団体における研修、学習会等への講師としてセンター職員を派遣します。また、市町村や団体等が講師を選定する際の情報提供等を行います。

### 復興・防災と男女共同参画に関する人材育成事業

復興・防災活動において、男女共同参画の視点(女性や高齢者、障がい者、セクシュアルマイノリティ、外国人など、性別や多様性に配慮)を持って対応できる人材の育成のため、行政担当者向けの研修や市町村への出張講座を行います。

## 普及啓発事業

### 男女共生地域連携意見交換会「未来館トークサロン」

県内各地を館長が訪問し、地域の男女共同参画について自由に意見交換をします。(R5テーマ「女性と政治参画」「公民館と男女共同参画」)

### コロナ禍における女性のつながりサポート事業

新型コロナウイルス感染症の影響により、生活に困難や不安を抱える女性が社会との絆やつながりを回復できるよう、電話相談・居場所の提供など相談支援体制の強化と、生理用品の提供を行います。

### 市町村男女共同参画促進事業

地域における男女共同参画意識の普及啓発を図るため、市町村等が実施するイベント等において、男女共同参画関連パネル等の移動展示を行います。

## 相談事業

### 相談室

日常生活の中で直面するさまざまな人間関係から生じる問題や悩みについて、電話や面接による相談を行っています。【開設時間：9時～12時・13時～16時(水曜日は13時～17時・18時～20時)】

- 一般相談(電話・面接・予約制)
- 専門相談(面接・完全予約制)
  - ・法律相談(主に第3水曜日)
  - ・女性のためのカウンセリング(主に第1・3金曜日)
- 男性相談員による相談(火曜日17時～20時・電話のみ)

### 相談&予約専用電話(相談無料)

# TEL.0243-23-8320

## 情報事業

### 情報提供

男女共同参画に関する情報をホームページ、SNS、メールマガジン(月1回)により提供します。

### 広報活動

広報誌「未来館NEWS」を発行するほか、県政広報その他各種媒体による紹介を行います。



上記以外にも  
さまざまな事業  
を行っています。  
詳しくはHPを  
チェック!

## 視察を終えて(編集委員より)

- 福島県男女共生センターは開館当時の女性の学習拠点という位置付けから、社会の変化に応じているような役割を担ってきたと知りました。セクシュアルマイノリティの方や男性の悩みへの対応、女性の起業に対する支援、復興・防災に関する人材育成など、全ての人が生きやすい社会を目指しています。
- 福島県男女共生センターの調査研究事業では、福島県という地域性を考慮した意識調査(福島県の高校生のジェンダー環境に関する調査等)を実施するなど、さまざまな視点から問題を取り上げていることが分かりました。いわき市内の図書館でも、それらの本は閲覧できます。

## 令和5年度事業報告

## 第22回福島県男女共生のつどい

日時：令和5年11月12日（日）13：00～  
場所：いわきアリオス 中劇場

県内市町村の女性団体等が主体となり毎年開催される大会が、いわき市の「男女共同参画の日」事業とあわせて開催されました。

## 「男女共同参画に関する川柳・写真」表彰式

※入賞作品などはP6～7に掲載しています。



## 講演会



### 働く女性の健康を守る

～産婦人科医が伝えたいカラダのこと、ココロのこと～

●講師 / 丸の内の森レディースクリニック  
院長 宋美玄氏

産婦人科医の視点での分かりやすいお話に参加者からは、「大変勉強になった」、「男女ともに学ぶべき」、「自分の子どもや孫に伝えたい内容だった」などの感想をいただくなど大変好評でした。



## 転入女性交流のつどい

日時：令和5年10月31日（火）、12月5日（火）10：15～  
場所：いわき産業創造館 企画展示ホール

本年度2回目、3回目となる交流会が開催されました。参加者はそれぞれ自己紹介した後、日常生活や育児の話題などで和やかに懇談し、親睦を深めていました。



## 女性活躍推進セミナー

日時：令和5年12月20日（水）14：00～  
場所：いわき市文化センター 3階 大会議室



### アンコンシャス・バイアス研修

～誰もが生きやすい社会へ～

●講師 / さくら人材コンサルティング株式会社  
代表取締役 伊藤 明美氏

組織や自身の中にあるアンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み、偏見）に気づくことで、誰もが働きやすい職場環境を目的に実施しました。

アンコンシャス・バイアスの基礎知識やコミュニケーションの重要性などのお話に参加者からは、「無意識の思考習慣について改めて考える機会となった」、「アンコンシャス・バイアスについて理解が深まり、コミュニケーションをしっかりとっていかねばならないと感じた」、「相手の思いや気持ちを聞くことが重要だと思った」などの感想をいただきました。



# 男女共同参画の日

市では、男女共同参画についての理解と関心を深め  
令和5年11月12日(日)いわきアリオスで「男女共

## 男女共同参画に関する川柳 入賞作品

654人の市民の皆様から、1,282句のご応募をいただきました。小学生の部、中学生の部、高校生の部、大学生・一般の部の各部門毎に厳正なる審査を行い、入賞作品を次のとおり決定しました。

### 小学生の部

<p><b>優秀賞</b> なみぬいは 母より細(こま)い 祖父のわざ 佐藤 望乃さん 【御厩小学校五年】</p>	<p><b>優秀賞</b> きたいふく きちやいなよ きにすんな 近藤 凜希さん 【小名浜海星小学校三年】</p>	<p><b>最優秀賞</b> 背中がね 同じに見える 父と母 大山 空瑚さん 【大浦小学校六年】</p>
<p><b>審査員特別賞</b> お母さん 土日もがんばる 看護職 遠藤 優龍さん 【大浦小学校六年】</p>	<p><b>佳作</b> パパの日は リクエストしたもの 食べられる 須藤 景一朗さん 【中央台東小学校四年】</p>	<p><b>佳作</b> パパつくる メニューはいつも チャーハンだ 木下 優月さん 【湯本第三小学校二年】</p>

### 中学生の部

<p><b>優秀賞</b> 君の個性 隠さなくていい さらけ出せ 鈴木 心裕さん 【小川中学校二年】</p>	<p><b>優秀賞</b> ワンチーム 共に見てきた 喜怒哀楽 佐藤 奈月さん 【小川中学校二年】</p>	<p><b>最優秀賞</b> 協力で 頼りきりから 卒業へ 岡崎 拓海さん 【内野第二中学校三年】</p>
<p><b>佳作</b> 部内戦 男女混合 負けないぞ 佐藤 柊斗さん 【入遠野中学校三年】</p>	<p><b>佳作</b> 食洗機 入れる枚数 競う親 野本 莉緒さん 【小川中学校一年】</p>	

### 高校生の部

<p><b>優秀賞</b> お父さん 「家事手伝うよ」は 間違いです。 志賀 日和さん 【磐城桜が丘高等学校一年】</p>	<p><b>優秀賞</b> 父作る 名も無き料理 おいしいよ 大槻 悠斗さん 【小名浜海星高等学校二年】</p>	<p><b>最優秀賞</b> 晩ごはん おいで分かる 調理人 大隅 輝弥さん 【いわき湯本高等学校三年】</p>
<p><b>審査員特別賞</b> 野手めがけ ノック打ってる マネージャー 吉田 怜生さん 【磐城桜が丘高等学校一年】</p>	<p><b>佳作</b> 未来の彼の エプロン姿に ときめきたい 鶴山 心咲さん 【磐城桜が丘高等学校一年】</p>	<p><b>佳作</b> 共稼ぎ 家でもそれぞれ 共働き 宇野 陽喜さん 【磐城桜が丘高等学校一年】</p>

### 大学生・一般の部

<p><b>優秀賞</b> 子が帰省 夫婦で作る 家の味 古川 英樹さん</p>	<p><b>優秀賞</b> 二人目で 初めて知った おむつの香 桑宮 順子さん</p>	<p><b>最優秀賞</b> プロポーズ 決め手は家事の 半分こ 小澤 健一さん</p>
<p><b>審査員特別賞</b> 風評へ 浜の母ちゃん 網を引く 小澤 健一さん</p>	<p><b>佳作</b> 手をば取り 笑顔で作る 夕餉かな 布施 敏家さん</p>	<p><b>佳作</b> かっこいい! バス運転士 ぼくのママ 下山田 恵子さん</p>

### 学校賞

市立大浦小学校・市立小川小学校・市立湯本第三小学校・市立小川中学校  
市立桶売中学校・市立上遠野中学校・県立磐城桜が丘高等学校・県立小名浜海星高等学校

### 講評

猛威を振ったコロナ旋風もやっと5類入りとなり、市民生活も落ち着きを取り戻した昨今です。世情も明るさを取り戻し、応募されたたくさんの作品にも反映されました。一般社会、家庭、学校、それぞれの分野での男女共同参画の意義がたった17文字で表現される川柳は、素晴らしい文芸だと改めて感じさせられました。一家族一家族がいわき市の基盤です。市民の一人一人が心を寄り添わせ、明るい未来を築いていくことを切に願います。  
川柳選考会審査員 真弓 明子

るため、11月の第2日曜日を「男女共同参画の日」と定め、「男女共同参画に関する川柳や写真」を募集しました。同参画の日」事業として、川柳・写真の入賞者の表彰式や講演会などを行いました。

# 「男女共同参画に関する写真」入賞作品

16点のご応募をいただきました。厳正なる審査を行い、入賞作品を次のとおり決定しました。



「あーん」加藤 温恭 さん  
「いつも楽しく食す」をもっとうにしています。

「祖母から父へ受け継ぐ故郷の味」  
小名浜第二中学校3年 遠藤 悠真 さん

祖母の作る料理は絶品だ。  
祖母から父へ故郷の味を受け継ぐ親子の姿は、まさに神秘的だった。



「家族団欒 おいしいごはん」  
上遠野中学校3年 平子 杏果 さん

みんなでそろって食事した夕飯の思い出。



「週末のお手伝い」  
ふたば未来学園中学校2年  
川嶋 暖大 さん

週末は、家族で家事を分担しています。僕と弟の役割の1つが、玄関のはき掃除です。協力してやっています。

## 講評

コロナ禍による長いトンネルを抜けて、気持ちが外へと向かっている、家族写真やお手伝いの写真からもその雰囲気を読み取れるような気がしました。明るい雰囲気の写真に心がとてもほっこりしました。そして、これらの光景がいつまでも続くこと、また一人一人が自分らしく生きていける社会になるよう、強く期待したいと思います。

写真選考会審査員 加藤 藤子

# いわきの SANKAKUSAN さん

～いわきの“さんかくさん”とは？～  
いわきで男女共同参画を推進する活動をしている人。



男の料理教室  
講師  
大町 達夫さん  
(おおまち たつお)

Q&A

**Q** 先生が料理の道に進んだ理由について。(経歴など)

**A** 両親が共働きだったこともあり、小学生の頃から味噌おにぎりや炒めご飯を作って食べていたことがきっかけで料理を好きになりました。銀座のお店で料理の修行を始めました。田舎から来たこともあり、いろいろと苦労しながら料理の技術を磨きました。いわきではレストラン、郡山ではホテルで洋食をメインに調理をしていました。

**Q** 男の料理教室を始めたきっかけと反響について。また、いつから料理教室を実施しているか。

**A** 約35年ほど前に東京からいわきに戻ってすぐに、公民館から男の料理教室の依頼がありました。当時は働いていて、仕事の終わった夜に教室を開いていました。当初は1、2回で終わると思っていましたが、参加希望者が多く、今まで続いています。参加者から「実際に家で作りました」という声もいただき、励みになっています。

**Q** 男の料理教室と一般の料理教室で心掛けていること、また先生が感じる教室の違いについて。

**A** 男の料理教室では、肉をメインに、ボリュームのあるレストランでも出せる味を家庭にある調味料で作れるようなレシピ、一般の料理教室では、毎日の食卓のメニューに使えるようなレシピを提案しています。料理は言葉で伝わらない、実際に作らないと分からない。調理工程をオープンにして分かりやすく、自宅に帰っても何年経っても分かるようなレシピになるよう工夫しています。特に、男の料理教室では、調味料を大さじ何杯という表現だけでなく、細かく計ってレシピに載せています。私は、実際に作って見せて味見をしてもらい、その後に調理実習をしてもらっています。参加者が疑問に思うような所を伝えるように意識しています。

**Q** 「男子厨房に入らず」という言葉に対して一言。

**A** もったいない。自分の作った物を食べてもらうことが一番の喜びで、そのチャンスを逃していますね。上手い下手ではなくて、一所懸命作った料理を相手に評価してもらった方が良いと思います。

**Q** 男女の役割分担について先生が思うこと。

**A** 後片付けなど自分ができることはできるだけやった方が良くと思います。料理ができると家庭以外で評価されることもあるので、ぜひ積極的に取り組んで欲しいです。男女とも好きなことに積極的に取り組めると人生が開けますよね。

## 私のおすすめの本

私は道の駅巡りが大好きで、その地域の特産や料理を味わるのが楽しみです。新しい料理を考える参考にもなるので、ガイドブックを読んでいます。



## いわきのさんかくさん 募集

自薦・他薦は問いません。  
※詳しくはセンターまで

## wing

いわき市男女共同参画情報紙ーウィングー  
vol.60 2024年3月 発行  
編集長：加藤 藤子  
編集委員：影井 和也 小林美智子  
鈴木かおり 緑川 琴江

発行：いわき市 市民協働部 男女共同・多文化共生センター  
〒970-8026 いわき市平字堂根町1番地の4  
Tel.0246-41-9201 fax.0246-41-9202  
E-mail: danjo-kc@city.iwaki.lg.jp

いわき市女性活躍推進ポータルサイト  
詳しくはこちら▶



あなたもwingに参加してみませんか。ご意見・ご感想をぜひお寄せください。次回10月発行です。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。